

ビニル系床材のワックスメンテナンス方法

マティル NW ウッドライン NW は表面にコーティングが施されていますのでノーワックスでもご利用いただけますが、より長く美観を保ちたい場合は、ワックスメンテナンスをしていただくことも可能です。

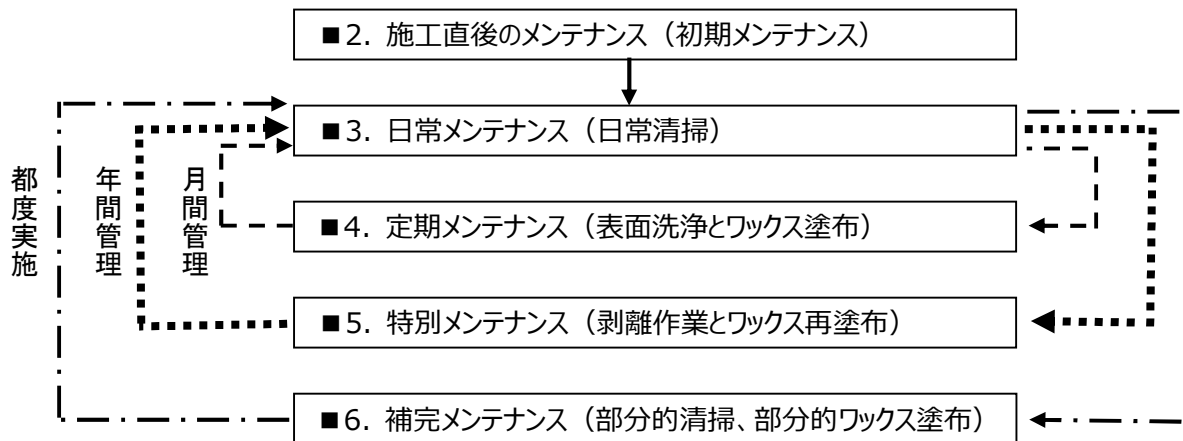
※ノーワックスでご利用いただく場合は「ビニル床材のノーワックスメンテナンス方法」を参照ください

表面エンボスにより光沢のあるものや光沢の低いものなど様々です。施工初期はワックスの密着性が悪かったり、汚れやすかったり、ワックスの保ちが悪くなる場合がありますので、この間はメンテナンス回数を増やしてください。

□ ビニル系床材のメンテナンス方法

■ 1. メンテナンスのサイクル

メンテナンスのサイクルの目安の例になります。



月間管理：1～2回／2ヶ月

都度実施：汚れがこびりついてしまった、光沢が落ちてしまった場合

年間管理：1～2回／2年

■ 2. 施工直後のメンテナンス（初期メンテナンス）

ビニル系床材の製造時の油脂や施工時の汚れを除去し、初期汚れを防止するためのメンテナンスです。

2-1 洗浄

接着剤が完全硬化したら床用洗浄剤を水で希釈し、モップで塗布した後、ポリッシャーで、全面ムラ無く洗浄します。洗浄後、汚水をスクイージーや汚水バキュームで除去します。汚水を回収した後、洗剤分を残さないように、きれいな水で床面をすすぎ洗いし、きれいなモップで3回以上水拭きします。最後に乾いたきれいなモップで拭き上げ、乾燥させます。

2-2 ワックス塗布

床材が乾燥したら専用モップに樹脂ワックスをつけ、ゆっくり丁寧にムラ無く塗布します。

ワックスが乾いたら塗布方向を90度変えて塗布します。ワックス掛けは二～三層塗布が標準です。

■ 3. 日常メンテナンス（日常清掃）

床面をいつもきれいに保つためのメンテナンスです。靴などに付着して持ち込まれた土砂が、表層に小さい傷を生じさせ、床面の汚れや光沢低下をもたらします。土砂を入口で防ぎ、持ち込まれた土砂は早めに除去するために、出入口に防塵マット敷設することをお勧めします。また、マット類はこまめに清掃、又は交換してください。

3-1 モップ拭き

ダスターモップや掃除機で、床全面のごみや土砂などを除去します。固絞りの水拭きモップで汚れを拭き取るか、水拭きモップで洗浄後、乾かないうちにきれいなモップで仕上げ拭きを行います。

3-2 マシン清掃

マシン清掃をする場合は、水あるいは薄い洗浄液を使用し、洗浄してください。洗浄後、乾かないうちにきれいなモップで仕上げ拭きをして洗浄剤は残らないようにします。

■ 4. 定期メンテナンス（表面洗浄とワックス塗布）

日常メンテナンスを繰り返すと、ワックスの光沢が下がり、汚れが取り難くなります。定期メンテナンスは、汚れを落とし光沢を回復するためのメンテナンスです。樹脂ワックスの表面を床専用洗浄液で洗浄し、荒れた面をフラットにするためワックスの再塗布を行います。

4-1 モップ拭き

表面洗浄を行う前に、掃除機、固絞りのモップ、除塵クロスで土砂を除去します。

4-2 洗浄作業

床用洗浄剤を水で希釈し、洗浄液を調製後、専用モップで洗浄液をムラなく塗布します。ポリッシャーで全面ムラ無く洗浄し、洗浄後、汚水をスクイージーや汚水バキュームで除去します。汚水を回収した後、洗剤分を残さないように、きれいな水で床面をすすぎ洗いし、きれいなモップで3回以上水拭きします。最後に乾いたモップで拭き上げ乾燥させます。

4-3 ワックス塗布

乾燥したら専用モップにワックスをつけ、一層塗布します。

■ 5. 特別メンテナンス（剥離作業とワックス再塗布）

日常・定期メンテナンスを十分におこなっていても、深い傷が徐々に取り切れなくなり、皮膜全体が劣化し黄ばみ、定期メンテナンス作業では回復できなくなってきました。その段階になった場合に、古いワックス層を完全に除去し、新しいワックス層を構築するためのメンテナンスです。通常の床用洗浄剤では樹脂ワックスの皮膜を完全に除去できませんので、ワックスの剥離には床用剥離剤を使用します。

5-1 モップ拭き

剥離作業を行う前に、掃除機、固絞りのモップ、除塵クロスで土砂を除去します。

5-2 剥離作業

床用剥離剤を水で希釈し、剥離液を調製後、専用モップで剥離液をムラなく塗布します。ポリッシャーで、全面ムラなく剥離洗浄します。剥離洗浄後、汚水をスクイージーや汚水バキュームで除去します。汚水を回収した後、洗剤分を残さないように、きれいな水で床面をすすぎ洗いし、モップで3回以上水拭きします。最後に乾いたモップで拭き上げ乾燥させます。

5-3 ワックス塗布

乾燥したら専用モップに樹脂ワックスをつけ、ゆっくり丁寧にムラ無く塗布します。

ワックスは二～三層塗布します。

■ 6. 補完メンテナンス（部分的清掃、部分的ワックス塗布）

こびり付いた部分的な汚れの除去や部分的に光沢が落ちてしまった箇所のみ行うメンテナンスです。

こびり付いた付着物は洗浄前に床が傷つかないように、ヘラ等で除去します。ヒールマークなど部分的な汚れは、洗浄液でハンドパッドやマイクロファイバーモップ等を使い部分洗います。

歩行の頻度が高い箇所などは他よりワックスの摩耗が激しい場合もあるため、部分的なワックス掛けを行います。作業は定期メンテナンスと同様です。

□ビニル系床材のワックスメンテナンス方法の留意点

■ 1. メンテナンス剤選定の留意点

建物の部位によっては、ワックス類を使えない場合や耐薬品性・帯電性・抗菌性など床材の機能を重視する場合があります。事前に施主とよく打ち合わせの上、メンテナンス剤は選定してください。

床材の抗菌性能を重視する場合は、抗菌性能が付与されたワックスをご使用下さい。

床材の帯電防止性を重視する場合は、帯電防止性能が付与されたワックスをご使用ください。ただし、帯電防止ワックスは通常のワックスより床材への密着性や耐湿性が劣る場合がありますので事前確認をするようお願いいたします。

アルコール消毒液を使用される部位では、垂れた消毒液によりワックスが白化することがございます。白化が懸念される部位では耐アルコール性のあるワックスをご使用ください。

普通、ビニル系床材に用いられるワックス剥離剤は pH13 前後の強アルカリ性ですので、皮膚につくとやけどやかぶれる場合があります。作業は保護手袋を着用して行ってください。万一皮膚にふれた場合は、すみやかに多量の水で洗ってください。

剥離洗浄作業時は、床面が大変滑りやすくなります。靴に滑り止めの工夫をして、作業してください。

ご使用のメンテナンス剤によってはここに記載の方法と異なる場合があります。使用するメンテナンス剤のご使用方法に準じて作業をしてください。

■ 2.メンテナンス作業における留意点

マット類や除塵クロスで帯電油を用いたものは床に汚れを付着させたり、ワックス皮膜を黄変させたりする恐れがありますので使用しないでください。

オフィス等のO Aフロアを下地とした場合は別途「M12_置敷きビニル床タイルのメンテナンス方法」も参照してください。水分乾燥の目安は夏場 30 分程度、冬場 60 分程度、雨天等湿度が高いときは目安時間よりも長くなることがあります。

タイルには目地があり、メンテンスなどで使用する液体が目地から下に浸透して床材が不具合を起すことがあります。ワックス塗布する前は目地部の乾燥の時間を十分に採り、ワックス被膜で蓋をしないようにご注意ください。

■ 3.ポリッシャーパッドの色と硬さについて

目的の用途に応じて取り扱うメーカー推奨のパッドを選択してください。色と硬さについては各社で異なります。

3 M社製フロアパッドの例

初期・日常メンテナンス（洗浄作業）	白、黄色、（赤）
定期メンテナンス（洗浄作業）	赤、（青、緑、茶）
特別メンテナンス（剥離作業）	茶、（黒）

茶や黒といったナイロンパッドを使用すると、色によっては傷が目立つことがあります。

目立たない部分で試したのち使用してください。

■ 4.初期メンテナンス実施までの養生期間

施工時に使用の接着剤の種類によって初期メンテナンスができるまでの養生期間は異なります。

用 途	種 類	養生期間
一般工法用 接着剤	アクリルエマルション形	1 4 日以上
耐水工法用 接着剤	ウレタン樹脂形 エポキシ樹脂形	7 日以上

以上